

月刊

河井克行

九月号



平成二十四年九月一日号【第十四号】

衆議院議員 河井克行事務所

自由民主党広島県第三選挙区支部

国会事務所 TEL:03-3508-7518 FAX:03-3508-3948

広島事務所 TEL:082-832-7301 FAX:082-878-3301

ブログ「あらいぐまのつぶやき」 <http://kawai.fine.to/katsu>

新しい自民党総裁に、安倍晋三さんを

～河井克行代議士が安倍選挙対策本部事務局に就任～

政権交代から三年が過ぎましたが、与野党ともに国民の期待に応えきれないまま、国政は混乱と迷走を深めるばかりです。いまこそ国民は、国益を毀損した民主党政権に代わり、生まれ変わった自民党を待ち望んでいます。

自民党が大きく変わる絶好の機会である今回の総裁選挙で、河井克行代議士が安倍晋三さんに強く期待する理由は次の三点です。

- ① 価値観や政策を共有できない民主党との大連立ではなく、保守勢力の結集「平成の保守合同」の実現に全力を注ぐから
 - ② 国民が自民党を忌避した原因である「古い自民党」を打ち破り、「脱派閥」「脱長老支配」の実現に全力を注ぐから
 - ③ デフレ脱却と経済成長そして強い外交・安全保障の実現に全力を注ぐから
- 難病による挫折を乗り越え、『日本再起。』を旗印に雄々しく立ち上がった安倍晋三さんの主な訴えは次の通りです。

I 一日も早いデフレ脱却と成長力の底上げで所得向上、雇用の創出に全力！

II 日本の誇り 憲法改正・教育再生に全力！

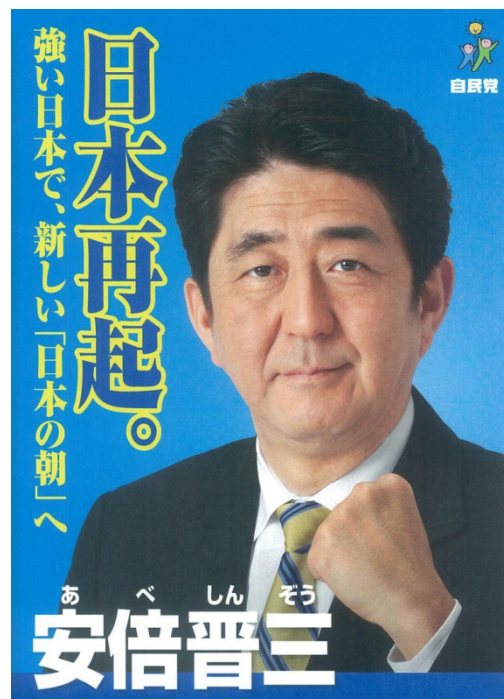
III 外交・総合安全保障の確立に全力！

IV 自主の志・強固な国づくりに全力！

V 自助・自立を基本に、「助け合い」「思いやり」を大切にする社会保障制度の確立に全力！

VI 元気なふるさと、活力あふれる地域づくりに全力！

総裁選挙における安倍晋三さんへのご支援を心からお願い申し上げます。



新たな政策集団「国家の統治機構を考える会」を旗揚げ

～ 超党派八人が結集 来たるべき政界再編の中核に～

二度の準備会合を重ね、9月7日早朝、六党八人の国会議員が東京都内のホテルに集まり、新しい政策集団「国家の統治機構を考える会」を結成しました。参加者は次の通りです。

塩崎恭久(自民党)、小沢鋭仁(民主党)、原口一博(民主党)、下地幹郎(国民新党)、河井克行(自民党)、松野頼久(日本維新の会)、舛添要一(新党改革)、江口克彦(みんなの党)。

いま国民は、日本を強く豊かな国にするための政界再編成を待ち望んでいます。政府や党での経験を活かし、国会議員の矜持と責任感に立脚し、長期的な展望に基づいてどのような統治のあり方に変えるべきかなどの実践的な議論を行うため、河井克行代議士が呼びかけて、この会が設立されました。

今後は、毎週金曜日朝七時から勉強会を開き、①真の政治主導による政策決定の実現、②国民の期待に応えられる国会改革、③中央政府と地方政府の機能分担、④危機管理体制のあり方、などについて互いに意見発表を行い、実践的な議論を深めます。成果は、会のホームページや出版を通じて世に出していきます。

この政策集団が、民主党・自民党の党首選挙や来たるべき衆議院総選挙をきっかけに政界が再編成されるときの中核になることが期待されています。



8月31日(金)放送
日本テレビ系列ニュース

【与野党8国会議員が勉強会】
民主、自民、みんな、国民新、新党改革の5党の国会議員8人が29日、東京都内のホテルで会合を開き、来週にも超党派勉強会として「国家統治機構研究会」(仮称)を発足させることを決めた。今後は50人程度まで規模を拡大し、橋下徹大阪市長の率いる「大阪維新の会」との連携も視野に入れている。
8人は、民主党の松野頼久元官房副長官のほか、同党の原口一博元総務相、小沢鋭仁元環境相、自民党の塩崎恭久元官房長官、河井克行元副法相、みんなの党の江口克彦参院議員、国民新党の下地幹郎幹事長、新党改革の舛添要一代表。
8月30日(木)付
『毎日新聞』→

8月29日(水)放送
フジテレビ系列
ニュースより↓

河井氏ら8人
超党派勉強会
都内で初会合
民主党の原口一博元総務相、自民党の河井克行元副法相(比列中国)、新党改革の舛添要一代表ら超党派議員8人による勉強会「国家の統治機構を考える会」の初会合が7日、東京都内のホテルであった。
将来の政界再編を視野に、政策決定の在り方や、中央と地方の機能分担について議論を深めるのが目的。この日は1人5分程度のスピーチを通じ、中央集権型統治の問題点や政党の党議拘束の是非などについて意見交換した。大阪維新の会については「政治や行政の在り方を根本から変えていく動きだ」と評価する声があったという。
今後、週1回のペースで会合を重ねる。河井氏は党派は違えど、驚くほど問題意識は共通している。政界再編の核としての役割をこの会が担えれば」と意欲を語った。
↑
9月8日(土)付
『中国新聞』

